



(一社)熊本県工業連合会元会長・(株)ミヤムラ元代表取締役会長  
宮村 宜司 氏を偲ぶ

熊本大学 名誉教授  
RIST相談役(元会長)

村山 伸樹

平成30年11月6日に(株)ミヤムラの宮村宜司会長が亡くなりました。享年78。心から哀悼の意を申し上げます。宮村さんを初めてお見かけしたのは平成5年の第4回RIST(旧名熊本知能システム技術研究会)シンポジウムでしたが、この時はお話も何もできませんでした。本当にお会いしてお話をしたのは平成9年第8回RISTシンポジウムでした。控室で世間話をしたのを覚えております。ニコニコして物腰がとても柔らかな方だとの印象でしたが、いざパネリストとして話されると熊本の産業界の弱みや地域産業の新しい分野への進出の課題や戦略などを独自のご意見をズバリ述べられていたのが印象的でした。

その後もいろいろな会合でお会いする機会がありました。奇偶にも平成17年に宮村さんは熊本県工業連合会の会長にご就任され、私はRISTの会長に就任しました。その時の思い出として強く印象に残っていることがあります。ある会合で「先生、飛行場の中で足の不自由な方が使われる車椅子を少し考えたいので力を貸してください」と言われ、会長職でお忙しい中でもいろいろ考えておられるのだなと思っていましたが、間もなく木製の車椅子を研究室に持参されて情熱的に説明され、評価をお願いしたいと言われた姿に感動したことを覚えています。そこで熊本機能病院の患者さんに乗ってもらい、その感想を聞き、またスタッフと「すわり心地」「たたみ方の簡便さ」「移動のス

ムーズさ」など幾つかの意見と対処方法について宮村さんと討論したことを懐かしく思います。「これを改良して、ぜひJALに使用してもらおう」と意気込んで帰られたことを今でも印象に残っています。その後、これがどうなったのか聞かずじまいでしたが、JALが木製車椅子を飛行場に採用しているので、たぶんこれが切っ掛けになったのではないだろうかと思っています。

話が前後しますが、もう一つは、平成13年に会社の業種とは全く関係ない「さくら保育園」を開設されたことです。どういう理由で開設されたのかをお尋ねした時に、にこにこしながら「これからは少子高齢化が進み、働く女性も増えます。社会改革をするには保育園が是非とも必要になってきます。子どもたちを明るくまっすぐな人に育てたい」と情熱的に語られましたが、現在の状況を考えると、まさしく宮村さんの言われた通りになってきています。

自宅が近かったせいもあり、「ぜひ遊びにおいで」と言われ、一度川路先生とお尋ねすることになっていましたが、急に用ができたということでお流れになりました。その後は行かずじまいになりお約束を果たせないままに今回の不幸をお聞きしました。宮村さんの「人」に対する心の広さと優しさを忘れずに世の中に貢献できるように努力したいと思います。天国からしっかりご覧になって叱咤激励して下さい。

(写真提供:(株)ミヤムラ)